



K-RIP情報

KYUSHU RECYCLE AND ENVIRONMENTAL INDUSTRY PLAZA

2006# vol.1

(財)九州産業技術センター
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-24
TEL 092-474-0042 FAX 092-472-6609
URL <http://www.k-rip.gr.jp>

平成18年度 K-RIP総会を開催

平成18年6月6日（火）、博多都ホテル（福岡市）におきまして、会員企業162名出席のもと、平成18年度のK-RIP総会を開催いたしました。

冒頭、麻生会長の挨拶、並びに来賓の松井哲夫九州経済産業局長の挨拶に続き、議長を選出（環境テクノス(株)鶴田暁社長）し、5議案について審議し、すべて異議無く了承されました。



その後、コクヨ株式会社代表取締役社長の黒田章裕様より『経営の信条・「カスの商売」で100年』と題した記念講演をいただき、無事閉会いたしました。



- 第1号議案
平成17年度事業報告について
- 第2号議案
平成17年度収支決算報告について
- 第3号議案
平成18年度事業計画(案)について
- 第4号議案
平成18年度収支予算(案)について
- 第5号議案
役員を選任について

麻生会長挨拶

只今、ご紹介いただきました九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ会長の麻生でございます。平成18年度のK-RIP総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、皆様お忙しい中平成

18年度の総会に、このように多数ご参集いただき、誠にありがとうございます。

皆様ご承知のとおり、K-RIPは、平成11年に設立され、今年で8年目を迎えております。当初は情報提供や産学官のネット

ワーク形成を中心に事業を展開し、13年度からは経済産業省が推進する「産業クラスター計画」のプロジェクトとして、九州経済産業局のサポートを受けて、事業化、起業化或いは販路開拓への事業化に務めて参りまし

た。これもひとえに皆様方のご理解とご協力によるものと、深く感謝申し上げます。

さて、K-RIPは設立当初から環境分野のネットワーク拡大・深化に取り組んでおり、平成17年度からは(財)北九州産業学術推進機構、(株)みなまた環境テクノセンター、(財)名瀬市営農センターの3組織と連携して事業を展開し、ネットワークの更なる拡大に努めて参りました。また、18年度は新たに(財)宮崎県産業支援財団が加わり、ネットワークの一層の拡大・深化が図られるものと期待しております。

一方、最重要課題である販路開拓の代表的な取り組みと致しましては、昨年10月に北九州で開催された西日本最大級の環境展「エコテクノ2005」においてK-RIPが拠点組織と連携してエコテクノの中心的な役割を担

い、会員の商品展示や商談を実施するとともに、技術シーズの発表の場として開催した環境イノベーションフォーラムにおいても知的クラスター創成事業と連携してビジネスマッチングに務めました。



麻生 泰 会長

このようにK-RIP活動は、拠点組織との連携を図りつつ引き続きネットワーク拡大・深化に勤め、更なる発展を目指して次のステージである事業化・起業化や新たなビジネスモデル創出

を進めており、今後もさまざまな事業に積極的に取り組んでいく必要があります。

また、18年度の事業計画と致しましても戦略分野事業化等研究会や環黄海経済・技術交流会議に合わせた中国へのミッション派遣などの新規事業やK-RIP成果発表会などの継続事業と内容的にも盛りだくさんな事業計画となっております。これらの取組を成果あるものとするため、会員の皆様方のより一層のご協力をお願い致します。

なお、本日の記念講演は、事務用品等で有名なコクヨ株式会社の黒田社長をお招きいたしており、本日の総会に相応しい講演になるものと期待致しております。

最後になりましたが、本日お集まりの皆様方と関係各位の今後益々のご活躍を祈念して私のご挨拶と致します。

記念講演

テーマ『経営の信条・「カスの商売」で100年』

カスの商売、創業者の理念

コクヨは1905年に、祖父の善太郎が26歳の時に創業しました。コクヨという社名は、創業者である祖父が19歳の時に越中富山から大阪に上阪し、26歳で独立するまで、是非国の誉れ、越中富山の誉になりたいという思いを持っており、コクヨというブランドを付けました。創業

者は大阪にきて、いくつかの仕事を経験したのち表紙店に4年半丁稚奉公し、黒田表紙店を興しました。表紙店というのは、番頭さんが帳場で開いて、書き込みをされています昔の和帳のことで、創業者は、この表紙を作るところからスタートを切りました。

カスの商売という意味ですが、前記のとおり、創業者は

1905年に独立して、以前の表紙店で働いている時の得意先を回った時に、ある方から次のように言われました。「黒田君たいへんな仕事を選んだね。世の中には、お金を持っている人は工場を建て、多くの機械を入れてお金儲けができる仕事を選んでいる。また、大学を出て、非常に勉強されて技術を持っている人たちは、新しい仕事にチャ

レンジしている。また、大勢の仲間を持っている人たちは、その仲間の知恵を集めて時代を先取りするような仕事をしているね。君をみているといつもひとりで、小学校しか出ていなくて、お金も多分ないだろう。そういう人たちがやる仕事というのは本当にいい仕事は残っていないよ。君はそういう中で、こういう仕事を選んだ。まさしくカスの商売しか残っていないね」

これを聞いて創業者は、「そうだ、私に相応しいのはカスの仕事だろう。しかし、世の中に無くなると困る仕事だろう。はじめからカスの商売だと腹据えてかかれば腹も立つまい、自分が惚れ込みさえすれば世の中にカスの商売等ありえない。」というふうに思いました。世の中の日陰にあるよ

うな仕事、なくてもいいような仕事、でもそれが誰かのお役に立っているような仕事、それは一杯あると思います。それをただやるというのではなく、腹を据えて惚れこんでやろう、こういうふうに創業者は考えカスの商売に取り組みました。以来100年間、本人は88歳で亡くなりましたが、あとに続いた父も叔父もそして私も4代に亘ってカスの商売を進めていこうというふうに考えたわけでありました。

また、創業者は非常に不遇な幼少時代、少年時代を経験して参りまして、多くのひとにお世話になってようやく事業を興すという経験をしました。そのため、社会のお陰という意識が非常に強く、社会への恩返しをい

つも考えておりました。安くて良い製品を作り続けることを常に考え、正しい仕事をしよう、役に立つ仕事をしよう、喜んでもらえる仕事に変えようという考え方は、社員全員が持っている私たちは思っております。

創業期

創業期は明治38年～戦前くらいまでというふうにお考えいただければ良いと思います。刷毛で



黒田 章裕氏（コクヨ株式会社 代表取締役社長）

和紙を貼る表紙の仕事から始めたわけですが、当時は、セブナイレブンや3万5千店という文具店もなく、一つのいい製品が売れば問屋さんか日本国中に広げてもらえるような流通ありません。刷毛で紙を貼るといいうカスの商売が大きな成功のきっかけを掴んだというのは、たった一冊の本「太閤記」です。創業者はお祭りに行ったり、お菓子を買う以上にこの「太閤記」を読みたかった。ところが、昼間は仕事、夜になると電気が消え、早く寝かされます。創業者は、普通の刷毛は6回塗りますが、3回塗れば、和紙に糊が均等に塗れる別製の刷毛を刷毛屋さんにオーダーし、他の丁稚さんの倍のスピードでこの表紙を

作ることができ、余った時間に「太閤記」を職場で堂々と読むようになりました。その後も、創業者は、いろんな工夫をしていき、26歳で独立し、多くの得意先をそのまま持ってスタートを切りました。

和帳に工夫を加え、裏に革を張って、1年間使われても反らない工夫をしてお客さまに届けました。その内、口伝えに黒田表紙店の和紙は良さそうだとい

うことが広がり、小さな商売ですが、名を轟かせるようになって参りました。これが、カスの商売の出だしであります。

便箋であります。当時は表紙と真ん中に入っている吸い取り紙、裏のボール紙を入れて100枚でした。創業者は、中身が100枚のものを作り

「正100枚」という文字を入

れました。これは、業界から袋叩きにあいましたが、お客さまに対する正直なこだわりを徹底したということでもあります。

帳簿につきましては、縞模様が付いています。一枚抜けば、縞模様が変わるので、「私の帳簿は正式な、正しい、正直な一年間の結果ですよ」ということを報告できるという創業者が考えた方法です。

成長期

伝票というのが登場します。一つの会計システムで、貸・借をまとめて帳簿に写して処理していくという古い時代の仕組みですが、今でもたくさん使われているところがあります。この、帳簿や伝票を販売しようと、作るための機械

を世界中探して回りましたが、ありませんでした。創業者は、この機械を開発し、桁数は充分すぎるが、いつでも文具屋に行ったら売っているということを始めました。

こういう中、私たちの扱う商品の範囲が徐々に広がりはじめました。オフィスで使われる帳票類、それを入れる入れ物ということで総合事務用機器メーカーとしての道をたどり始めました。単に中の文房具、紙製品だけでなく総合的にお客さまに商品を提供するというスタンスを持つようになりました。

机、椅子等のこれらの商品は、後発メーカーではありますが、10年にしてナンバーワンになりました。これは、全国に5万件ある販売店さんの全部ではありませんが協力、専門代理店66社の協力が大きく、今のコクヨの基礎になったのではないかと思います。

拡大期

お客さまの必要とされる商品が専門代理店を通じて要求され、商品数が13万アイテムまで拡大しました。お客さまが望まれる商品をいかに早く届けるかということで、100万冊のカタログを作りました。このカタログはお客さまの、庶務だとか総務のバイブルとして使われ、このカタログを開きさえすれば、当時オフィスに必要な商品は見つけることができ、これを3万件の販売店に注文する、合わせて全国に27万平米の配送センターを有するようになり、こういう拡大期に私たちは参りました。

私が入社した昭和47年には、

私たち新入社員は、今の会長であります父から会社が拡大した理由について「カスというものに対する徹底性だ。我々がもし世の中の先輩企業から勝っているようなものがあるとすれば、惚れ込みと腹に据えたこだわりと徹底性で、私たちは決して派手な会社ではないけれど、少しずつ着実に進めていくことを美学として進めてきた会社で、どんなことでもいい続けようじゃないか、どんなことでもいい徹底しようじゃないか」ということを私たち新入社員に話し、いまでも非常に鮮烈に記憶に残っています。

新カスの商売

このようにカスの商売を進めることで、売上高が3千億円を超えるような企業に、バブル期であります成長しました。ただ一方では、私たちの気づかないところで、我々が今まで想像しなかったような規模で、国際化、情報化、オフィスの環境の変化というものが、私たちの把握できないスピードで進んできていったのではないかと思います。合わせて、私たちの強みであった流通と言われる全国の5万件の文具屋さん、66の専門代理店を遥か空中を飛んでビジネスというのがこの時期にスタートを切りました。新しいカタログ通販と言われる、ネットで注文するもの等です。私たちが十人十色の時代を過ごしたとすれば、今は十人一万色、そのような時代ではないかと思っております。

この結果、コクヨの成長は止まってしまいました。私たちは

顧客そのもののこだわりに対応するために、カスのモデルを営々として100年進めて参りましたが、後半10年間は、見事に成長がとまってしまいました。ちょうどそういう時期に100周年を迎えることになりました。100周年の社長メッセージはお客さまに『訊け』というもので、カスの商売の徹底をもう一度、ゼロからやりなおしましょうと4千人の社員に問いかけました。私たちも販売店さんも一緒になって、聞き手を増やして訊きに行こう、面倒でやっかいな仕事を進めていくようにしました。これが、新カスの商売です。ワークサポートサービス、ワークハッピー、ユニバーサルデザイン、セキュリティー、中国、BtoC、オフィスポータル等新カスの商売に取り組んでおります。

私たちはカスのモデルに常にこだわりを持って、惚れ込んで、そして腹を据えて、お客さまに喜んでいただけるサービスを提供し続けて参りました。引き続きまして、コクヨはメインではございませんが、皆さま方のごかでお役に立つ商材を提供し続けていく所存でございますので、ご縁がございましたら、お話やらご指導をいただければ有難いと思っております。

お聞き取りいただきましたことに心からお礼を申し上げ、私の講演とさせていただきます。どうもありがとうございました。

役員名簿

会 長		
(株)麻生	代表取締役社長	麻生 泰
副 会 長		
旭化成(株)	取締役兼執行役員延岡支社長	水谷 茂
環境テクノス(株)	代表取締役	鶴田 暁
九州電力(株)	常務取締役	武田 守正
西部ガス(株)	常務取締役	由良 範隆
新日本製鐵(株)	取締役八幡製鐵所長	浜本 康男
理 事		
雲海酒造(株)	代表取締役社長	中島 勝美
(株)エコシステム	代表取締役	菅 洋一
王子製紙(株)	執行役員日南工場長	林 秀明
(株)環境セキュリティ・システム研究所	代表取締役社長	米ヶ田健司
九電産業(株)	取締役環境部長	松田 憲明
(株)黒田工業	代表取締役	黒田 實
金剛(株)	代表取締役社長	宮崎 邦雄
(株)サニックス	代表取締役	宗政 伸一
山九(株)	九州エリア長	重岡 誠司
太平洋セメント(株)	九州支店長	竹野 孝之
チッソ(株)水俣本部	取締役常務執行役員本部長	田畑 暢哉
(独)中小企業基盤整備機構九州支部	支部長	村上 広昭
電源開発(株)	九州支社長	丸山 勝久
東陶機器(株)	環境推進室長	内田 照雄
トヨタ自動車九州(株)	取締役生産管理部長	徳田 勇治
西日本技術開発(株)	環境整備部長	木寺佐和記
日本浄水管理(株)	取締役会長	井料 豊久
パナソニックコミュニケーションズ(株)	環境本部長	井手 正史
(株)フクユー緑地	代表取締役	栗山 昌高
(株)松田興業	代表取締役	松田 正則
(株)三井ハイテック	常務取締役管理本部長	大森 昌勝
三井物産(株)	理事九州支社長	松山 良一
(社)日本鉄リサイクル工業会	九州支部長	池尻 徹男
(財)九州産業技術センター	専務理事	野田 博之
北九州市	環境経済部長	今永 博
大牟田市	産業経済部産業振興担当部長	村上 義弘
水俣市	総務企画部長	葦浦 博行
九州工業大学	学長	下村 輝夫
大分大学	学長	羽野 忠
監 事		
(株)西日本シティ銀行	公務金融法人部長	木原 一
(社)九州・山口経済連合会	経済産業本部長	國政 淳一
顧 問		
福岡県リサイクル総合研究センター	センター長	花嶋 正孝
九州経済産業局	局 長	川口 修

各部会幹事名簿

交流部会		
部 会 長		
(株)麻生	環境事業部部長	坂田 昌己
副 部 会 長		
(株)日研	代表取締役	末竹 哲
幹 事		
旭化成(株)	社長室付副部長	秋山 武康
NPO法人環境カウンセラー全国連合会九州ブロック協議会	九州環境カウンセラー協会代表幹事	松浦 茂雄

(有)共栄資源管理センター小郡	代表取締役	野崎 千尋
西部ガス(株)	総合企画室環境・国際室長	野口 宏美
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 九州支部	営業推進役	久保山雅生
西日本環境工ネルギー(株)	新規事業推進部課長	原田 達朗
(株)フクユー緑地	代表取締役	栗山 昌高
三菱マテリアル(株)	九州工場技術部環境リサイクル課長	野口 竜二
(株)矢敷環境保全	代表取締役	矢敷 和男
九州工業大学	工学部建設社会工学科教授	仲間 浩一

調査・情報・啓発部会

部 会 長		
九州電力(株)	環境部環境部長	森元 豊
副 部 会 長		
(株)西村鉄工所	代表取締役社長	西村 仁志
幹 事		
大谷化学工業(株)	代表取締役	梅田 佳暉
九州大学	大学院工学研究院環境都市部門教授	島谷 幸宏
(株)九州総研	代表取締役	工藤 憲男
(株)九州テクノリサーチ	環境ソリューションセンター-取締役センター長	粉 康則
チッソ(株) 水俣本部	管理部長	辻 良二
電源開発(株) 西日本支店	支店長代理(福岡市駐在)	松尾 昌美
(株)三森屋	社会環境事業担当	荒木 正信
九州工業大学	地域共同研究センター教授	角中 正博

プロジェクト部会

部 会 長		
新日本製鐵(株)八幡製鐵所	総務部開発企画グループ部長	井川 順司
副 部 会 長		
三井物産(株)九州支社	プロジェクト統括部長	平塚 伸也
幹 事		
九州大学	大学院工学研究院応用化学部門教授	北條 純一
環境テクノス(株)	開発部プロジェクト担当部長	弟子丸克彦
産業技術総合研究所 九州センター	九州産業官選機センター-産学連携コーディネーター	安部 英一
住友商事(株)九州・沖縄ブロック	企画管理部長	山口 克彦
日鐵運輸(株)	環境事業部事業部長	今井 忠道
(株)マサキ・エンヴェック	代表取締役	眞崎 建次
熊本県工業技術センター	材料開発部部長	永田 正典
宮崎県工業技術センター	資源環境部部長	中田 一則
(財)かごしま産業支援センター	産学連携センター課長	遠矢良太郎
吉玉精錬(株)	代表取締役社長	吉玉 典生
九州工業大学	副学長	水垣 善夫

需要創出部会

部 会 長		
(株)ワイビーエム	代表取締役会長	吉田 哲雄
副 部 会 長		
長崎大学	環境科学部環境科学科教授	武政 剛弘
幹 事		
熊本大学	法学部教授	外川 健一
北九州市立大学	国際環境工学部助教授	福田 展淳
宮崎大学	工学部物質環境化学科教授	保田 昌秀
鹿児島大学	農学部生物環境学科教授	守田 和夫
産業技術総合研究所 九州センター	産学官福岡サイト	萩尾 剛
九州環境技術研究所	所長	齊藤 清美
山九(株) 九州エリア	環境事業推進部九州地区担当部長	白石 学
つちやゴム(株)	代表取締役社長	倉田 雄平
三菱商事(株)九州支社	業務経理部部長	本庄 伸一
伊藤忠商事(株)九州支社	企画開発室長	三箇 正彦
九州工業大学	大学院生命工学研究科教授	春山 哲也

平成18年度 K-RIP事業スケジュール

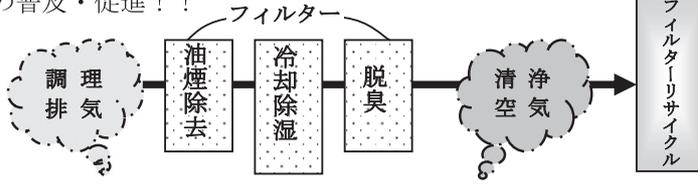
部会名	事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総会、役員会			★6/6									
	運営会議、部会		◎事業計画、総会議案										◎予算作成、実績報告
	クラスター戦略会議		・委員依頼	★第1回委員会	★第2回委員会	★第2回委員会	★第3回委員会	★第4回委員会	★第5回委員会	★第5回委員会	次年度計画・予算作成		
交流部会	グリーンマーケティングブラザ		・募集		・企業選定		★7~9 NEW環境展 (大阪府)	★25~26 びわ湖環境ビジネ スマッセ2006 (滋賀県長浜市)	★9~11 NEW環境展 (福岡)	★14~16 東京 (エコプロダ クツ2006)			
	環黄海環境ビジネスミッション		・募集				★ミツシヨソ派遺 (9月末予定) 注) 第6回環黄海経済・技術交流会議に併催		★11/下旬予定(エコテック/2006・九中会議に併せて実施)				
	九中エコビジネスパートナーシップ実践事業												
	環境材料国際事業						企画・調整・講演者等選定		・案内		・開催		
	エコエネルギーセミナー												経済局・NEDO等のイベント共催
調査情報 開発部会	環境リサイクルフォーラム				企画・調整・講演者等選定		・案内		★11/下旬予定(エコテック/2006に併せて実施)				
	専門家派遣事業												
	広報誌				★1回		★2回		★3回				★4回
	情報提供事業 環境ハンドブック パンフレット						関係機関との調整						★発行
													原稿作成
プロジェクト 部会	プロジェクト創出連携事業												
	環境展出展支援				・募集								
	及び K-RIP 成果発表会				・企業選定								
	成果発表会				・募集								
必要創出 部会	K-RIPプロジェクト		・審査会		・採択								実績報告書
	必要創出研究会				・委員依頼		★第1回研究会		★第2回研究会			★第3回研究会	★第4回研究会(セミナー等)
	K-RIP環境性能検証システム						システム見直し						★第2回検証
	戦略分野事業化研究会(仮称)		・委員依頼	★第1回研究会 (市場ニーズ調査 等実施方法につ いて)	調査(文献調査・企業ヒアリング・ 学術者ヒアリング等)		★第2回研究会 (調査結果・分野 毎支援について)	★第3回研究会 (平成19年度立 ち上げプロジェ クトについて)					
環境NPOとの交流事業				企画・調整・講演者等選定		・案内		★11/下旬予定(エコテック/2006に併せて実施)					

！平成18年度 K-RIPプロジェクト決定！

●株式会社 アルム

『排気浄化フィルターの製造・販売事業の販売戦略構築』 [mail:komonkyou@city.omuta.fukuoka.jp](mailto:komonkyou@city.omuta.fukuoka.jp)

廃棄物を出さないアルミ繊維から造った排気浄化フィルター（使用後の洗浄・再生、アルミリサイクル）の普及・促進！！



<光触媒、防塵アルミフィルターは…>

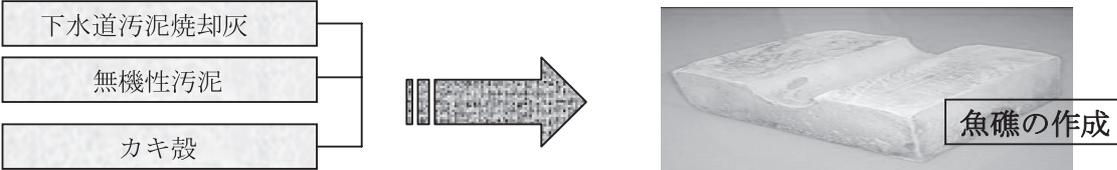
- ・割れない、欠けない、軽い
- ・熔融紡糸法アルミ繊維はアルム独自開発
- ・電化厨房専用の換気装置
- ・原料一貫生産により品質・コストで優位生あり



●株式会社 コズエ

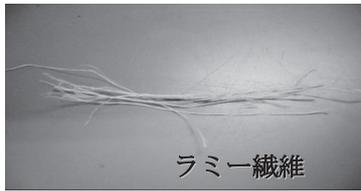
『下水汚泥焼却灰を高配合した環境調和型魚礁の開発』 <http://www.kozuegroup.com/>

産業廃棄物であるカキ殻やホタテ殻を原料にして、下水汚泥焼却灰を高配合したリサイクル材の開発を行い埋め立て処分場の延命化と自然環境回復を行う



●株式会社 TRESS

『ラミー繊維のグリーンコンポジット化に関する繊維抽出技術体系調査』



ラミー繊維

バイオプラスチックの強化材として有望なラミー麻繊維作物を使ったグリーンコンポジット化の技術開発課題の調査・研究！！



有限会社 日研

NPO 法人 南畑ダム貯水する会

『安心の水質！DIN規格に対応する雨水利用システムの開発』

<http://homepage3.nifty.com/nikkenfukuoka/>



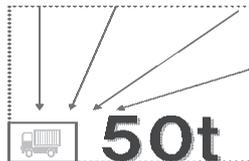
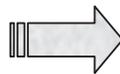
貯留タンクとは・・・雨といから貯留タンクへ流れた雨水を貯めることができます。庭の水まきや、花・樹木の散水などとして利用できます。

DIN規格（ドイツにおける雨水利用システムの工業規格）に対応した「水質面で安心して使える雨水利用システム」の開発！！

●株式会社 福岡生物産業開発研究所 『環境配慮型油泥処理システム Eシステム普及プロジェクト』
事業所から排出される油泥を含んだ汚泥の発生量をAS菌による分解によって削減し、環境負荷低減を図る



800t



50t

<http://homepage3.nifty.com/nikkenfukuoka/>

Eシステムによる節減効果：100店舗あたりの年間油泥排棄量1/16に削減！！

→約1400万円のコスト削減

拠点組織のご紹介

株式会社 みなまた環境テクノセンター



環境ビジネスフォーラム in 熊本

環境・福祉ビジネスフェア



南九州地域には、焼酎等の醸造メーカー、畜産業者、漁業における養殖・水産加工メーカーが多数存在しており、焼酎粕、畜ふん、動植物性残さ等の大量のバイオマスが排出されています。

みなまた環境テクノセンターでは南九州エリアでの産学官ネットワークを形成することにより、環境・バイオ関連産業と化学・IT産業との技術融合を支援し、「地域の課題は地域で解決」をモットーに、南九州地域における産業振興を目指します！

- クラスターマネージャーによる産学官ネットワークの拡大・充実、企業間のマッチングの実施
- 新たな環境・バイオに関するビジネス研究会の組成（南九州エリアにおいてのビジネスチャンスの可能性を探る）
- 各種展示会への出展や、セミナー、フォーラム開催
→K-RIPや他拠点組織とも連携！！

☆HP: <http://www.mktc.co.jp/>☆

財団法人 奄美市農業研究センター

奄美市農業研究センター



ソソノハナ

奄美群島には、さとうきびの製糖過程で排出されるバカス、黒糖焼酎の製造過程で排出される焼酎粕、大島紬の製造過程で排出されるセリシン、農畜産業から排出される糞尿等大量の資源が存在しています。また抗菌活性を持つ海藻「ソソノハナ」のような自然の未利用資源も多数存在します。そこで、(財)奄美市農業研究センターが主体となり、奄美産業クラスターのネットワークを活用して地域内の課題や未利用資源の有効利用を地域内で解決していきたいと考えています。

- 奄美産業クラスターの基盤整備
- 環境ビジネスにおける情報提供等の強化によるサポート
- ビジネスマッチング、人的ネットワークの場の提供→産学官による連携を生みだす！！

☆HP: <http://www.city.amami.lg.jp/amami04/amami09.asp>☆



サトウキビ畑

奄美の焼酎



K-RIPでは、拠点組織として採択された以下の4組織と連携し、「エコテクノ2006」におけるK-RIPエリア共同出展や「地域プロジェクト創出連携事業」における技術シーズの共同発表等を行い、ネットワーク拡大・深化を図りイノベーション創出に努めていきます！！

財団法人 北九州産業学術推進機構(FAIS)



5th フェア展示会
における環境・バ
イオ関連コーナー



Mg 研究会セ
ミナー

(財)北九州産業学術推進機構では、持続可能な社会の実現や環境の産業化に取り組んできた北九州市と連携し、北九州学術研究都市を中心に北九州地域の先端的な技術や研究成果を活用して、産学官によるネットワーク形成・拡充を目指します。

- 研究会活動・共同研究プロジェクト等支援
 - ネットワーク勉強会『ひびきのエコサロン』の開催
 - 「3R高度化研究会」…薄型ディスプレイリサイクル、レアメタル類の分類・回収、プラスチックリサイクルの高度化の検討
 - 「粉体技術を活用したリサイクル研究会」…北九州地域の技術とニーズのマッチング
 - 「メンテナンス研究会」…既存建造物の長寿命化に約立つメンテナンス技術の検討
- 次世代環境産業が次々と湧き起こるような仕組み作り！！

☆HP：<http://www.ksrp.or.jp/fais>☆

財団法人 宮崎県産業支援財団

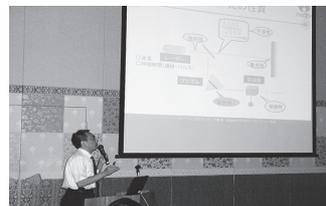
宮崎県では、ベーシックで広がりのある農林水産業へのこ入れや、今後重要性を増すリサイクル・環境・バイオマス関連産業への展開が、将来的な産業振興を図る上で重要な要素となっています。

- ネットワーク形成事業…戦略会議の開催とクラスター・マネージャーの設置を2本柱に、活力ある産業クラスターを形成するため既存のネットワークの深化を図る。
 - 連携促進事業…シーズとニーズのマッチングを行うことにより、新たな共同研究プロジェクト立ち上げを目指す
 - 販路開拓事業…みやざき産業クラスター推進協議会のこれまでの活動成果等を中心に商品の販路拡大を目指し、エコテクノ2006や各種展示会への出展支援
 - 情報提供事業…シンポジウム開催により、顔の見える人的ネットワークの形成強化
- 上記4事業により地域的な課題解決への貢献・新産業の創出及び雇用機会増加！！

☆HP：<http://www.i-port.or.jp/>☆



平成18年度
第1回シーズ別
マッチングセ
ミナーの様子



「専門家派遣事業」のお知らせ

～仕事でお困りの方に専門家を派遣します

K-RIPでは、昨年度に引き続き「専門家派遣事業」を開催いたします。

この事業は、K-RIP会員企業の皆さまを対象に、現在直面している課題に対する助言・情報提供を行い、課題解決の支援を行うものです。申込をいただいた会員の皆様を訪問して相談を受け、専門家によるアドバイス等の支援を実施いたします。

・実施期間

平成18年6月20日(火)～平成19年2月23日(金)

・申込み方法

K-RIPホームページ(会員限定サイト)からお申込みいただけます。

お申込み後、事務局で専門家を選任し派遣いたします。

・費用

無料(ただし2回目まで)

・相談対応者(専門家)

(社)日本技術士会九州支部

監査法人 トーマツ 等

* ご不明な点はK-RIP事務局(連絡先 下段)までご連絡ください。

広報紙「K-RIP情報」への会員情報掲載について

技術紹介、表彰、各企業の紹介他各会員の情報にスポットをあて、紹介いたします。

情報の掲載を希望される方は、K-RIP事務局までご連絡ください。

(連絡先 下段)

編集後記

年度が変わり、4月～6月は、「K-RIPプロジェクト」、「各部会/幹事会」「運営会議」開催、「役員会・総会開催」等あわただしく過ごし、7月は一息入れ、ほっとしているところです。

地球環境問題の進展等、環境・リサイクル産業はますます重要になっていくと思われまます。今年度も会員の皆さまの役に立つK-RIPを目指していきます。皆さまも遠慮なく、お問い合わせ等いただきますようお願いいたします。

【Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza】(K-RIP)

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)事務局

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東2丁目13-24

(財)九州産業技術センター内



TEL 092-474-0042

FAX 092-472-6609

URL <http://www.k-rip.gr.jp/>

e-mail info@k-rip.gr.jp



大豆インクを使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています。